

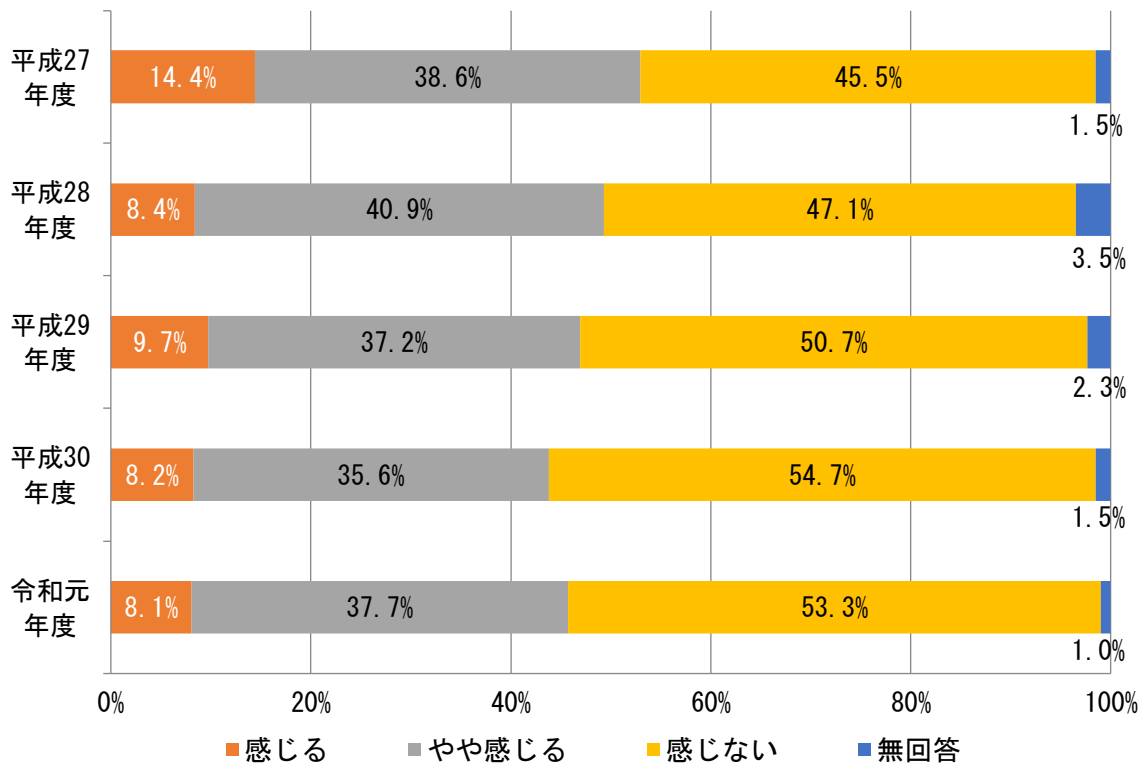
■「ひとづくりプロジェクト」について

問4. 環境について学ぶ機会（学習会やイベント等）が増えてきたと感じますか。（1つだけ）

「感じない」が53.3%と最も高く、次いで「やや感じる」が37.7%、「感じる」が8.1%となっている。

前回調査と比較すると、「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は45.8%で、2.0ポイント増加している。

過去5年間の推移では、「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合が平成27年度の53.0%から令和元年度では45.8%まで減少したものの、令和元年度は増加傾向に転じ減少傾向に歯止めがかかったと思われる。しかし、依然として学習会やイベント等の機会が十分ではないと感じている市民が多いことがうかがえる。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は70歳代が53.4%と最も高く、次いで60歳代（52.2%）、80歳代（49.5%）となっている。

職業別：「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は公務員が54.9%と最も高く、次いで無職（50.0%）、自営業（48.8%）となっている。

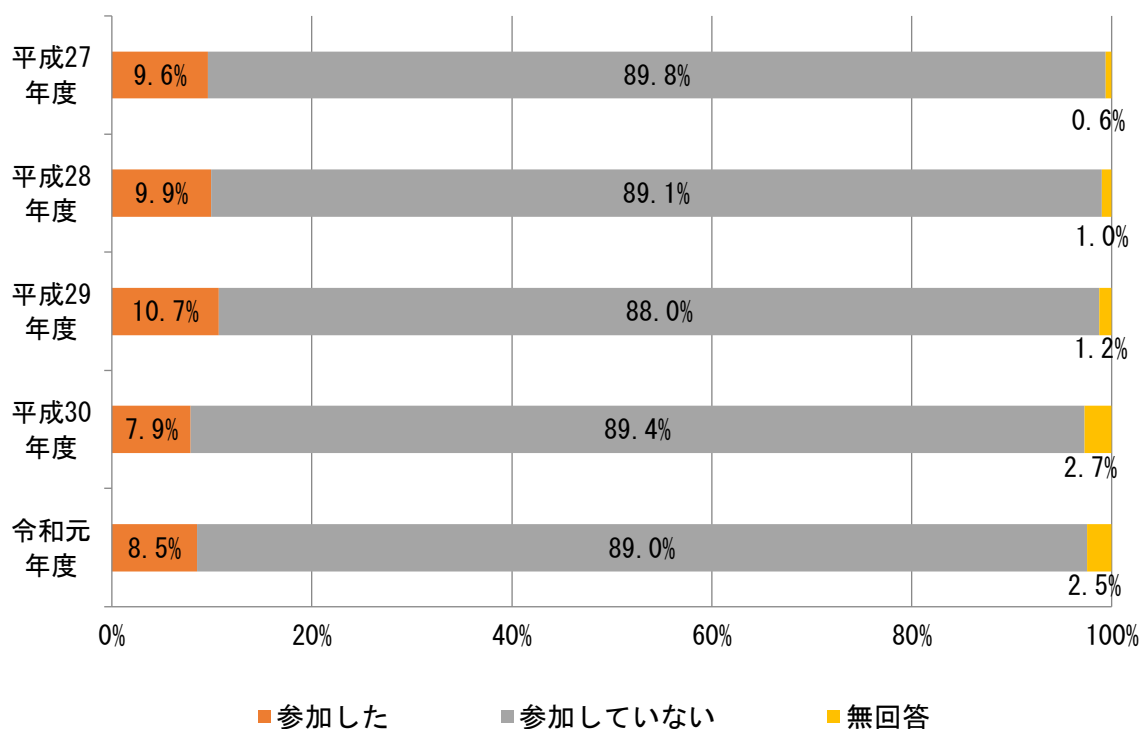
地区別：「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は西区が52.8%と最も高く、次いで東区（45.3%）、北区（44.9%）となっている。

■属性別回答

	合計	感じる	やや感じる	感じない	無回答
全体	1,130	8.1%	37.7%	53.3%	1.0%
年齢別					
20 歳代	80	6.3%	30.0%	63.8%	—
30 歳代	144	4.2%	29.2%	66.7%	—
40 歳代	193	7.3%	36.8%	56.0%	—
50 歳代	184	9.8%	33.2%	56.5%	0.5%
60 歳代	220	7.7%	44.5%	46.8%	0.9%
70 歳代	191	9.4%	44.0%	44.5%	2.1%
80 歳代	93	12.9%	36.6%	47.3%	3.2%
職業別					
会社員	375	5.9%	32.0%	61.6%	0.5%
自営業	82	17.1%	31.7%	50.0%	1.2%
農林漁業	12	8.3%	25.0%	58.3%	8.3%
公務員	82	11.0%	43.9%	45.1%	—
学生	14	7.1%	21.4%	71.4%	—
無職	396	8.8%	41.2%	48.5%	1.5%
その他	141	5.7%	42.6%	51.8%	—
地区別					
中央区	260	11.2%	33.5%	54.2%	1.2%
東区	276	9.8%	35.5%	54.3%	0.4%
西区	142	7.0%	45.8%	45.8%	1.4%
南区	216	6.9%	36.6%	55.6%	0.9%
北区	198	4.5%	40.4%	54.0%	1.0%

問5. この1年以内で、環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。(1つだけ)

「参加していない」が89.0%と「参加した」の8.5%を大きく上回っている。
 前回調査と比較すると、「参加した」の割合は0.6ポイント増加している。
 過去5年間の推移では、それほど大きな変動は見られない。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「参加した」は50歳代が12.5%と最も高く、次いで80歳代（11.8%）、70歳代（9.4%）となっている。

職業別：「参加した」は公務員が14.6%と最も高く、次いでその他（10.6%）、無職（8.8%）となっている。

地区別：「参加した」は北区が10.6%と最も高く、次いで中央区（9.6%）、南区（9.3%）となっている。

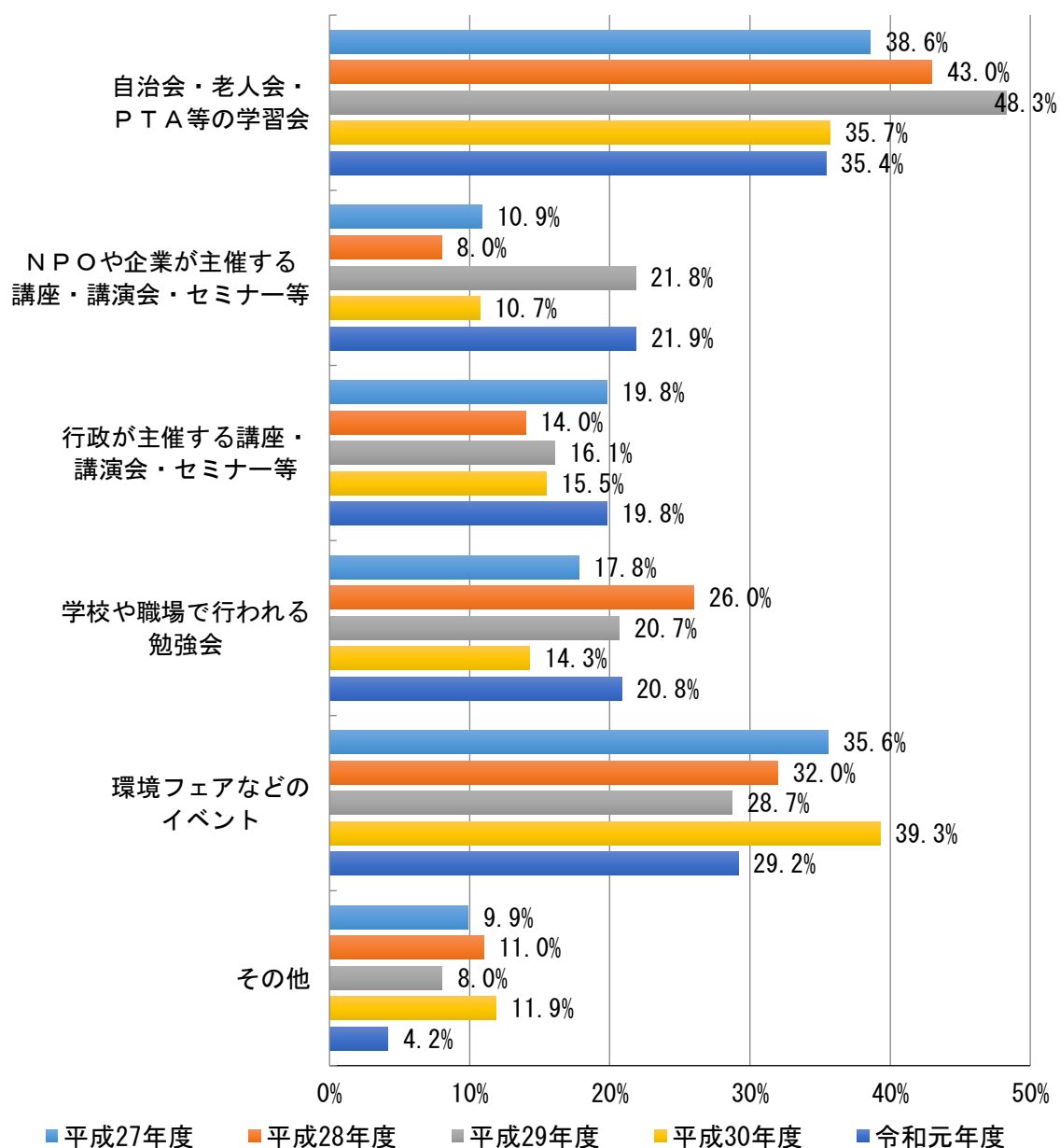
■属性別回答

	合計	参加した	参加していない	無回答
全体	1,130	8.5%	89.0%	2.5%
年齢別				
20 歳代	80	1.3%	98.8%	—
30 歳代	144	3.5%	96.5%	—
40 歳代	193	8.3%	91.7%	—
50 歳代	184	12.5%	85.3%	2.2%
60 歳代	220	9.1%	89.5%	1.4%
70 歳代	191	9.4%	85.3%	5.2%
80 歳代	93	11.8%	78.5%	9.7%
職業別				
会社員	375	6.4%	92.5%	1.1%
自営業	82	7.3%	89.0%	3.7%
農林漁業	12	8.3%	83.3%	8.3%
公務員	82	14.6%	85.4%	—
学生	14	—	100.0%	—
無職	396	8.8%	86.9%	4.3%
その他	141	10.6%	89.4%	—
地区別				
中央区	260	9.6%	88.8%	1.5%
東区	276	6.9%	90.2%	2.9%
西区	142	5.6%	93.0%	1.4%
南区	216	9.3%	88.9%	1.9%
北区	198	10.6%	86.9%	2.5%

問5-1. (問5. で「参加した」と答えられた方) どのような環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。(複数回答可)

問5. で「参加した」と回答した96人については、「自治会・老人会・PTA等の学習会」が35.4%と最も高く、次いで「環境フェアなどのイベント」が29.2%と、「NPOや企業が主催する講座・講演会・セミナー等」が21.9%となっている。

前回調査と比較すると、「自治会・老人会・PTA等の学習会」と「環境フェアなどのイベント」が減少した以外は増加している。



【参考】

【その他について】

- ・ 大学主催セミナー
- ・ 熊本県環境センター
- ・ 熊本市水の科学館
- ・ 生協や市民団体主催の講演会
- ・ デイケア

【回答者の属性別にみた結果】

※母数が少ないため分析は行わないが、結果は以下に示すとおりである。

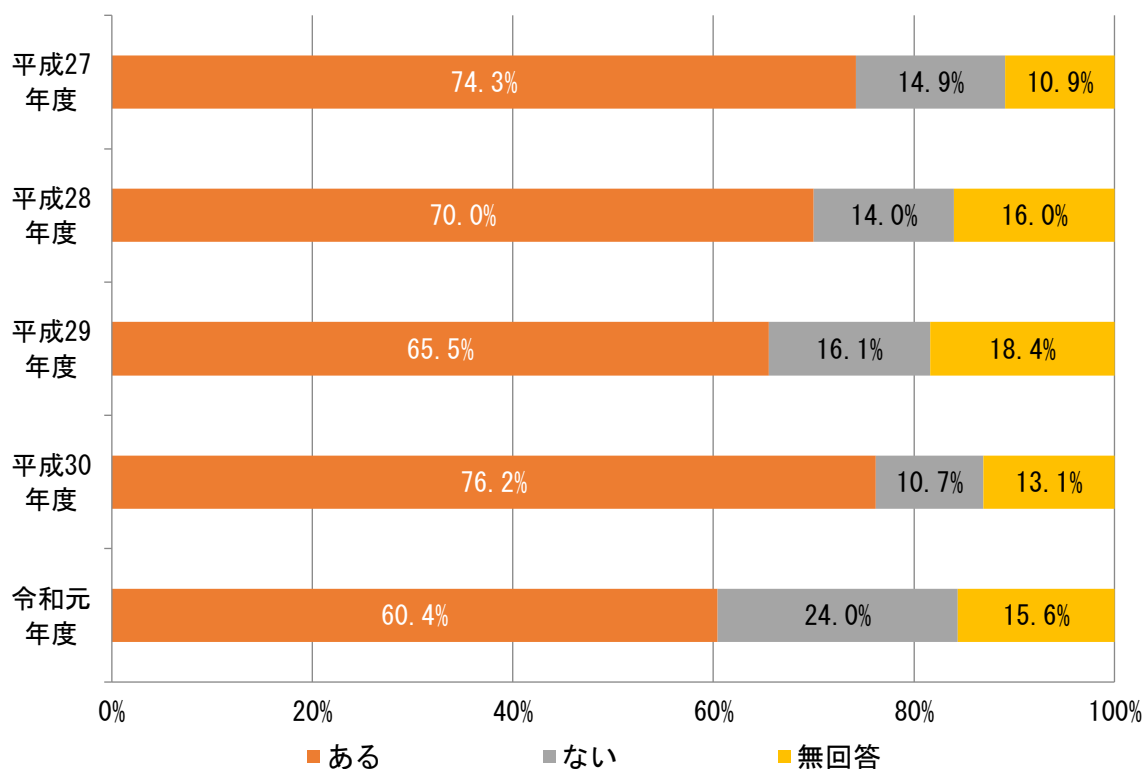
■属性別回答

	合計	自治会・老人会・PTA等の 学習会	NPOや企業が主催する 講座・講演会・セミナー等	行政が主催する 講座・講演会・セミナー等	学校や職場で行われる 勉強会	環境フェアなどのイベント	その他
全体	96	35.4%	21.9%	19.8%	20.8%	29.2%	4.2%
年齢別							
20 歳代	1	—	—	—	100.0%	—	—
30 歳代	5	40.0%	60.0%	60.0%	—	60.0%	—
40 歳代	16	12.5%	18.8%	31.3%	25.0%	25.0%	6.3%
50 歳代	23	13.0%	21.7%	8.7%	43.5%	26.1%	4.3%
60 歳代	20	40.0%	25.0%	35.0%	15.0%	45.0%	—
70 歳代	18	61.1%	11.1%	5.6%	—	16.7%	11.1%
80 歳代	11	72.7%	18.2%	—	9.1%	18.2%	—
職業別							
会社員	24	12.5%	29.2%	16.7%	37.5%	33.3%	—
自営業	6	50.0%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	—
農林漁業	1	—	—	—	—	100.0%	—
公務員	12	8.3%	8.3%	33.3%	50.0%	8.3%	8.3%
学生	0	—	—	—	—	—	—
無職	35	57.1%	14.3%	17.1%	8.6%	25.7%	5.7%
その他	15	46.7%	40.0%	13.3%	—	46.7%	6.7%
地区別							
中央区	25	28.0%	24.0%	16.0%	24.0%	28.0%	4.0%
東区	19	36.8%	5.3%	31.6%	21.1%	47.4%	10.5%
西区	8	37.5%	25.0%	—	—	37.5%	—
南区	20	55.0%	30.0%	20.0%	15.0%	15.0%	5.0%
北区	21	28.6%	19.0%	19.0%	28.6%	23.8%	—

問5-2. (問5. で「参加した」と答えられた方) 参加したことによって、環境保全のために実践するようになった行動(活動)はありますか。また、あるとしたらどういったことですか。(1つだけ)

問5. で「参加した」と回答した96人については、「ある」が60.4%と、「ない」の24.0%を大きく上回っている。

しかしながら、前回調査との比較や過去5年間の推移では、「ない」が平成27年度の14.9%から減少傾向にあったが、令和元年度は24.0%と増加に転じている。



【参考】

実践している内容

- ・ 地下水保全 (節水)
- ・ 清掃や美化活動 (町内一斉清掃、緑化活動、職場の清掃活動、地域の川の清掃、緑の募金、市電緑のじゅうたんサポーター協力、江津湖の外来植物の撤去、公園愛護会活動、植樹や花植え)
- ・ プラスチック対策 (マイバッグ・マイ箸・マイボトルの持参)
- ・ 廃棄物削減 (ごみの分別、生ごみのたい肥化、リサイクル)
- ・ エネルギー使用量削減 (節電、公共交通機関の利用)
- ・ その他 (極力廃材の発生を防ぐ計画・古い民家の再生 (建設業)、クールチョイスの実践)

【回答者の属性別にみた結果】

※母数が少ないため分析は行わないが、結果は次ページに示すとおりである。

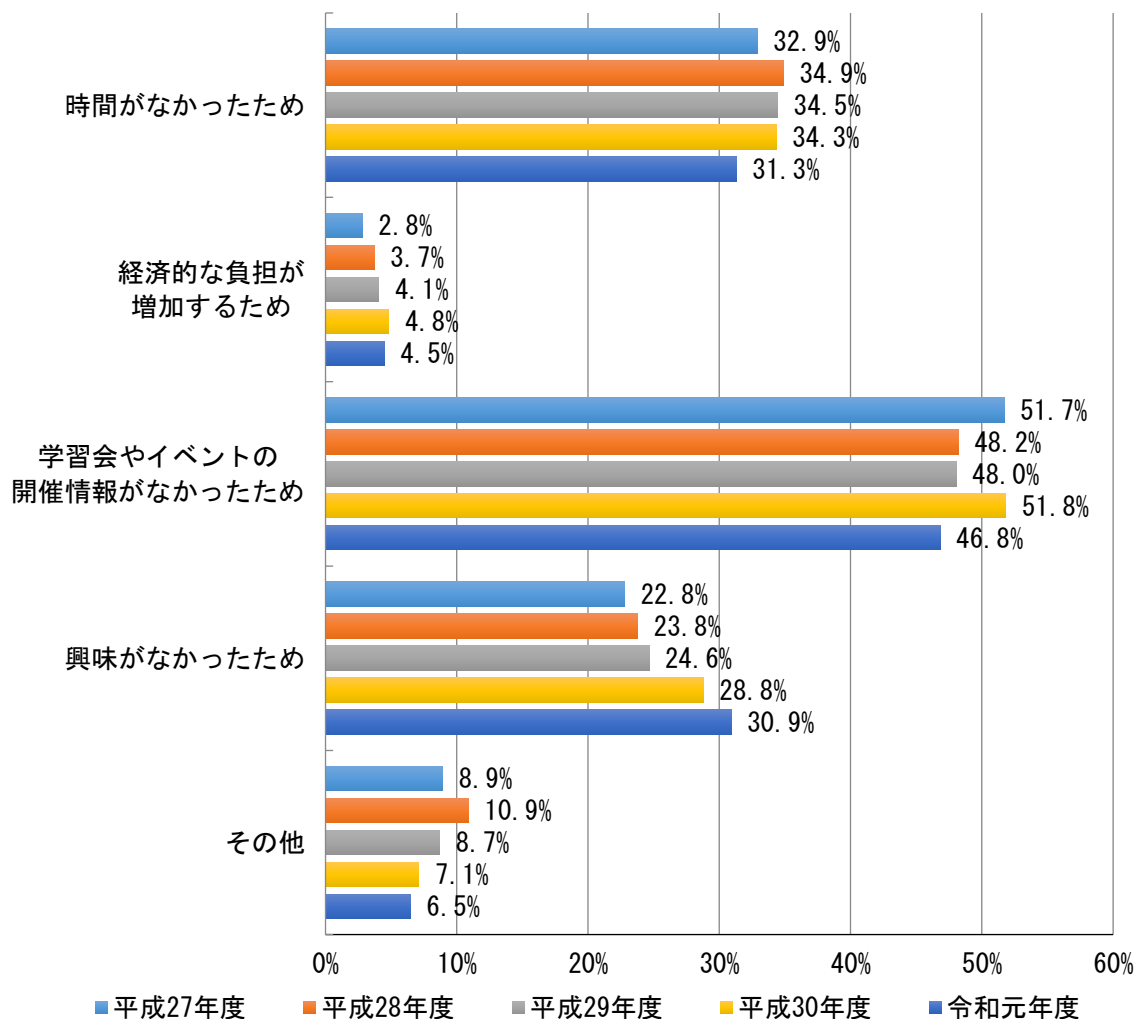
■属性別回答

	合計	ある	ない	無回答
全体	96	60.4%	24.0%	15.6%
年齢別				
20 歳代	1	100.0%	—	—
30 歳代	5	100.0%	—	—
40 歳代	16	31.3%	50.0%	18.8%
50 歳代	23	65.2%	26.1%	8.7%
60 歳代	20	75.0%	20.0%	5.0%
70 歳代	18	55.6%	16.7%	27.8%
80 歳代	11	45.5%	18.2%	36.4%
職業別				
会社員	24	50.0%	29.2%	20.8%
自営業	6	50.0%	50.0%	—
農林漁業	1	100.0%	—	—
公務員	12	50.0%	41.7%	8.3%
学生	0	—	—	—
無職	35	60.0%	17.1%	22.9%
その他	15	86.7%	6.7%	6.7%
地区別				
中央区	25	64.0%	20.0%	16.0%
東区	19	63.2%	21.1%	15.8%
西区	8	50.0%	37.5%	12.5%
南区	20	75.0%	15.0%	10.0%
北区	21	42.9%	38.1%	19.0%

問5－3.（問5. で「参加していない」と答えられた方）参加しなかった理由は何ですか。（複数回答可）

問5. で「参加していない」と回答した1,006人については、「学習会やイベントの開催情報がなかったため」が46.8%と最も高く、次いで「時間がなかったため」が31.3%、「興味がなかったため」が30.9%となっている。

過去5年間の推移では、それほど大きな変動は見られない。



【参考】

「その他」の内容

- ・親族の介護、自身の障がいや高齢等で参加できない。
- ・参加する意義を感じない。
- ・参加しづらさを感じた（引っ越したばかりで地域になじめていない）。
- ・参加の条件に合わない（親子での参加が条件だったり、小学生未満の子どもは参加できなかったりなど）。

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「時間がなかったため」は50歳代が40.1%と最も高く、「経済的な負担が増加するため」は70歳代が6.1%、「学習会やイベントの開催情報がなか

ったため」は50歳代と70歳代が49.7%、「興味がなかったため」は30歳代が43.2%と最も高くなっている。

職業別：「時間がなかったため」は公務員が47.1%と最も高く、「経済的な負担が増加するため」は農林漁業が10.0%、「学習会やイベントの開催情報がなかったため」は自営業が50.7%、「興味がなかったため」はその他が34.1%と最も高くなっている。

地区別：「時間がなかったため」は中央区が35.1%と最も高く、「経済的な負担が増加するため」は西区が7.6%、「学習会やイベントの開催情報がなかったため」は北区が50.6%、「興味がなかったため」は東区と西区が34.1%と最も高くなっている。

■属性別回答

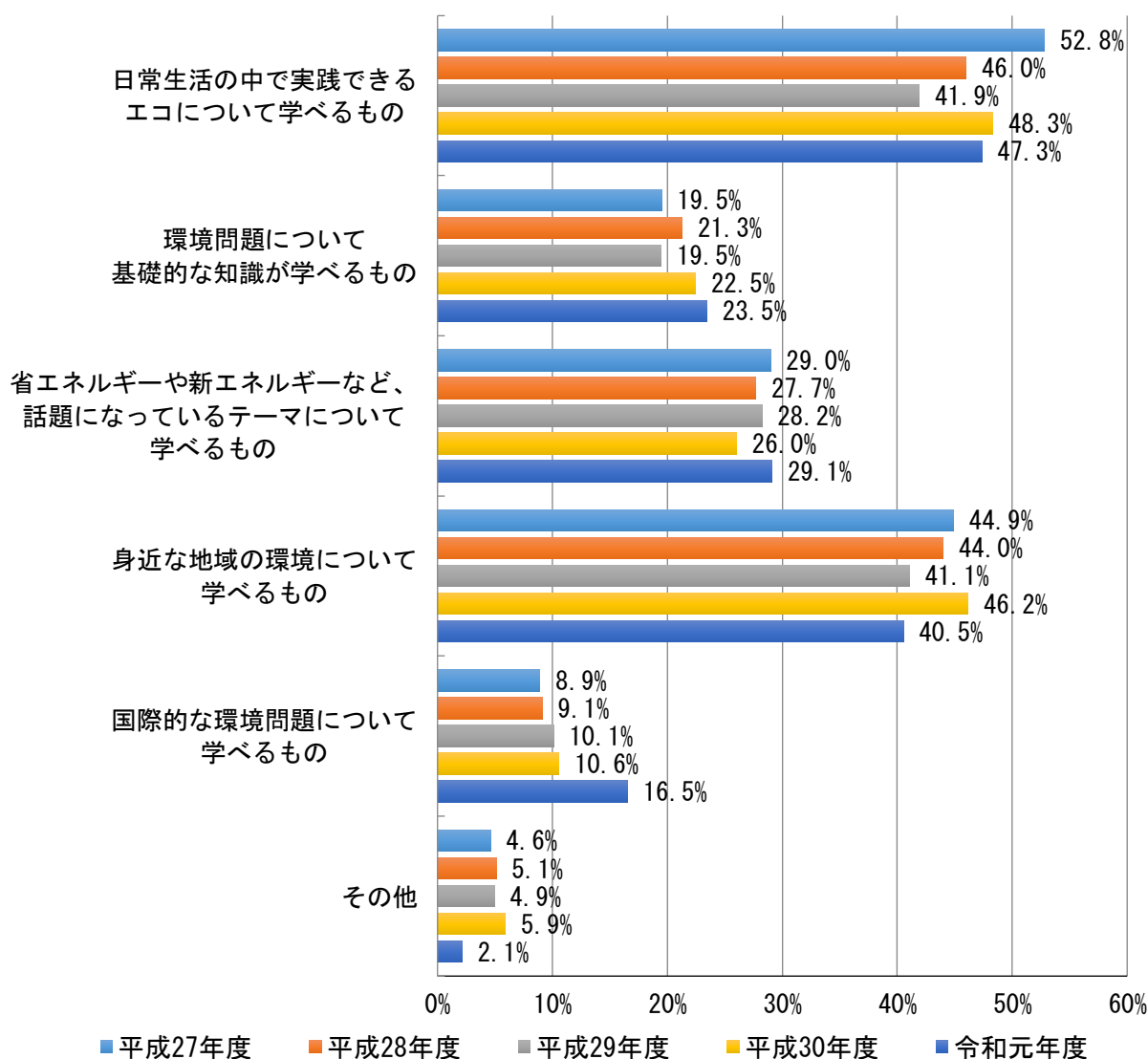
	合計	時間がなかったため	経済的な負担が増加するため	学習会やイベントの開催情報がなかったため	興味がなかったため	その他
全体	1,006	31.3%	4.5%	46.8%	30.9%	6.5%
年齢別						
20歳代	79	39.2%	5.1%	36.7%	35.4%	1.3%
30歳代	139	32.4%	3.6%	48.2%	43.2%	2.2%
40歳代	177	35.6%	5.1%	44.1%	33.3%	6.2%
50歳代	157	40.1%	2.5%	49.7%	26.8%	7.0%
60歳代	197	35.0%	5.1%	49.2%	28.9%	4.6%
70歳代	163	16.0%	6.1%	49.7%	27.6%	6.1%
80歳代	73	12.3%	2.7%	38.4%	20.5%	26.0%
職業別						
会社員	347	36.6%	4.0%	46.1%	33.1%	2.9%
自営業	73	37.0%	6.8%	50.7%	24.7%	6.8%
農林漁業	10	30.0%	10.0%	50.0%	30.0%	—
公務員	70	47.1%	4.3%	41.4%	28.6%	—
学生	14	35.7%	7.1%	28.6%	28.6%	7.1%
無職	344	18.6%	4.4%	48.5%	29.9%	12.5%
その他	126	37.3%	4.0%	43.7%	34.1%	4.0%
地区別						
中央区	231	35.1%	4.8%	45.9%	27.3%	7.4%
東区	249	32.5%	4.4%	43.8%	34.1%	5.2%
西区	132	25.0%	7.6%	43.9%	34.1%	9.1%
南区	192	31.3%	1.6%	50.0%	30.2%	6.3%
北区	172	27.3%	4.7%	50.6%	29.7%	5.2%

問6. 今後、どのような内容の学習会等に参加してみたいと思いますか。(複数回答可)

「日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの」が47.3%と最も高く、次いで「身近な地域の環境について学べるもの」が40.5%、「省エネルギーや新エネルギーなど、話題になっているテーマについて学べるもの」が29.1%となっている。

前回調査と比較すると、順位や割合に大きな変化はみられない。

過去5年間の推移では、「日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの」や、「身近な地域の環境について学べるもの」が毎年上位を占めており、市民の生活に密着した内容のものが求められていることがうかがえる。



【参考】

「その他」の内容

- ・プラスチック容器包装の分別講習会
- ・プラスチックの再利用率を高めるための学習会

- ・ 地域猫や保護猫の活動について学べるもの
- ・ 地域で将来起こるであろう問題についてポイントを絞った問題を学べるもの
- ・ 子どもが興味を持てる内容について学べるもの
- ・ 環境に関する実践ができるものでかつメリットがあるもの
- ・ 時間を割いてまで参加したいと思わない。

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの」は50歳代が52.7%と最も高く、「環境問題について基礎的な知識が学べるもの」は60歳代が28.6%、「省エネルギーや新エネルギーなど、話題になっているテーマについて学べるもの」、「国際的な環境問題について学べるもの」は20歳代が48.8%、27.5%、「身近な地域の環境について学べるもの」は60歳代が48.2%と最も高くなっている。

職業別：「日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの」、「環境問題について基礎的な知識が学べるもの」はその他がそれぞれ58.2%、31.2%と最も高く、「省エネルギーや新エネルギーなど、話題になっているテーマについて学べるもの」は学生が57.1%、「身近な地域の環境について学べるもの」は学生が40.7%、「身近な地域の環境について学べるもの」は無職が44.7%、「国際的な環境問題について学べるもの」は公務員が25.6%と最も高くなっている。

地区別：「日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの」は南区が50.9%と最も高く、「環境問題について基礎的な知識が学べるもの」は北区が29.8%、「省エネルギーや新エネルギーなど、話題になっているテーマについて学べるもの」、「国際的な環境問題について学べるもの」は中央区が33.8%、24.2%、「身近な地域の環境について学べるもの」は西区が44.4%と最も高くなっている。

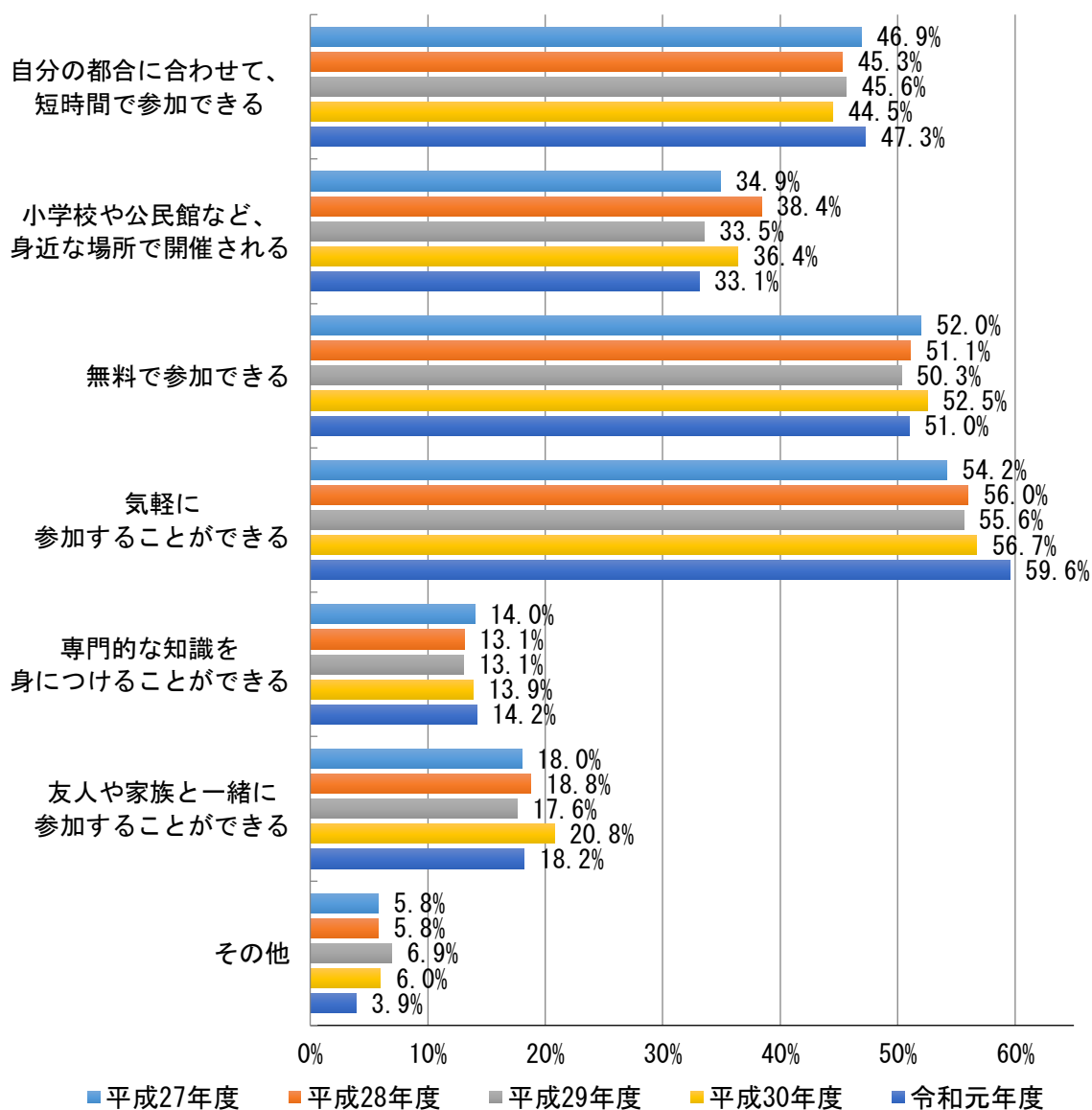
■属性別回答

	合計	日常生活の中で実践できる エコについて学べるもの	基礎的な知識が学べるもの 環境問題について	省エネルギーや新エネルギーなど、 話題になっているテーマについて 学べるもの	身近な地域の環境について 学べるもの	国際的な環境問題について 学べるもの	その他
全体	1,130	47.3%	23.5%	29.1%	40.5%	16.5%	2.1%
年齢別							
20 歳代	80	48.8%	18.8%	48.8%	33.8%	27.5%	1.3%
30 歳代	144	51.4%	21.5%	38.2%	36.1%	21.5%	5.6%
40 歳代	193	45.1%	23.3%	40.4%	34.7%	16.1%	2.6%
50 歳代	184	52.7%	23.9%	25.0%	41.8%	17.9%	2.7%
60 歳代	220	45.5%	28.6%	21.8%	48.2%	15.0%	1.4%
70 歳代	191	45.5%	23.0%	23.0%	43.5%	12.6%	0.5%
80 歳代	93	44.1%	19.4%	9.7%	35.5%	8.6%	1.1%
職業別							
会社員	375	44.8%	21.1%	34.4%	41.3%	17.9%	1.9%
自営業	82	47.6%	26.8%	28.0%	26.8%	15.9%	1.2%
農林漁業	12	33.3%	16.7%	8.3%	25.0%	—	—
公務員	82	51.2%	19.5%	29.3%	31.7%	25.6%	6.1%
学生	14	28.6%	28.6%	57.1%	28.6%	21.4%	—
無職	396	46.7%	23.5%	21.7%	44.7%	13.4%	2.3%
その他	141	58.2%	31.2%	33.3%	40.4%	17.7%	1.4%
地区別							
中央区	260	47.7%	21.9%	33.8%	37.3%	24.2%	2.7%
東区	276	48.9%	21.0%	30.4%	40.6%	14.5%	1.4%
西区	142	47.9%	24.6%	27.5%	44.4%	12.0%	1.4%
南区	216	50.9%	22.2%	23.1%	38.0%	15.7%	1.9%
北区	198	41.9%	29.8%	29.3%	43.4%	13.6%	3.5%

問7. どのような条件が整えば、より環境に関する学習会やイベント等に参加したい
と思いますか。(複数回答可)

「気軽に参加することができる」が59.6%と最も高く、次いで「無料で参加できる」が51.0%、「自分の都合に合わせて、短時間で参加できる」が47.3%となっている。

過去5年間の推移では、それほど大きな変動は見られない。



【参考】

「その他」の内容

- ・WEBで開催される
- ・ショッピングモールなどで買い物ついでに参加することができる
- ・特典やノベルティの配布がある
- ・参加することで資格を取得できる

- ・趣旨がはっきり分かる
- ・自由討論の時間がある

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「自分の都合に合わせて、短時間で参加できる」、「気軽に参加することができる」、「友人や家族と一緒に参加することができる」は30歳代がそれぞれ56.9%、66.0%、34.7%と最も高く、「小学校や公民館など、身近な場所で開催される」は80歳代が44.1%、「無料で参加できる」、「専門的な知識を身につけることができる」は20歳代が73.8%、21.3%とそれぞれ最も高くなっている。

職業別：「自分の都合に合わせて、短時間で参加できる」、「無料で参加できる」は学生がそれぞれ64.3%、78.6%と最も高く、「小学校や公民館など、身近な場所で開催される」は無職が41.4%、「気軽に参加することができる」は農林漁業が66.7%、「専門的な知識を身につけることができる」は公務員が22.0%、「友人や家族と一緒に参加することができる」は会社員が20.5%と最も高くなっている。

地区別：「自分の都合に合わせて、短時間で参加できる」、「専門的な知識を身につけることができる」は中央区がそれぞれ51.2%、16.9%と最も高く、「小学校や公民館など、身近な場所で開催される」、「気軽に参加することができる」は南区が40.3%、61.6%、「無料で参加できる」は東区が54.0%、「友人や家族と一緒に参加することができる」は北区が22.2%と最も高くなっている。

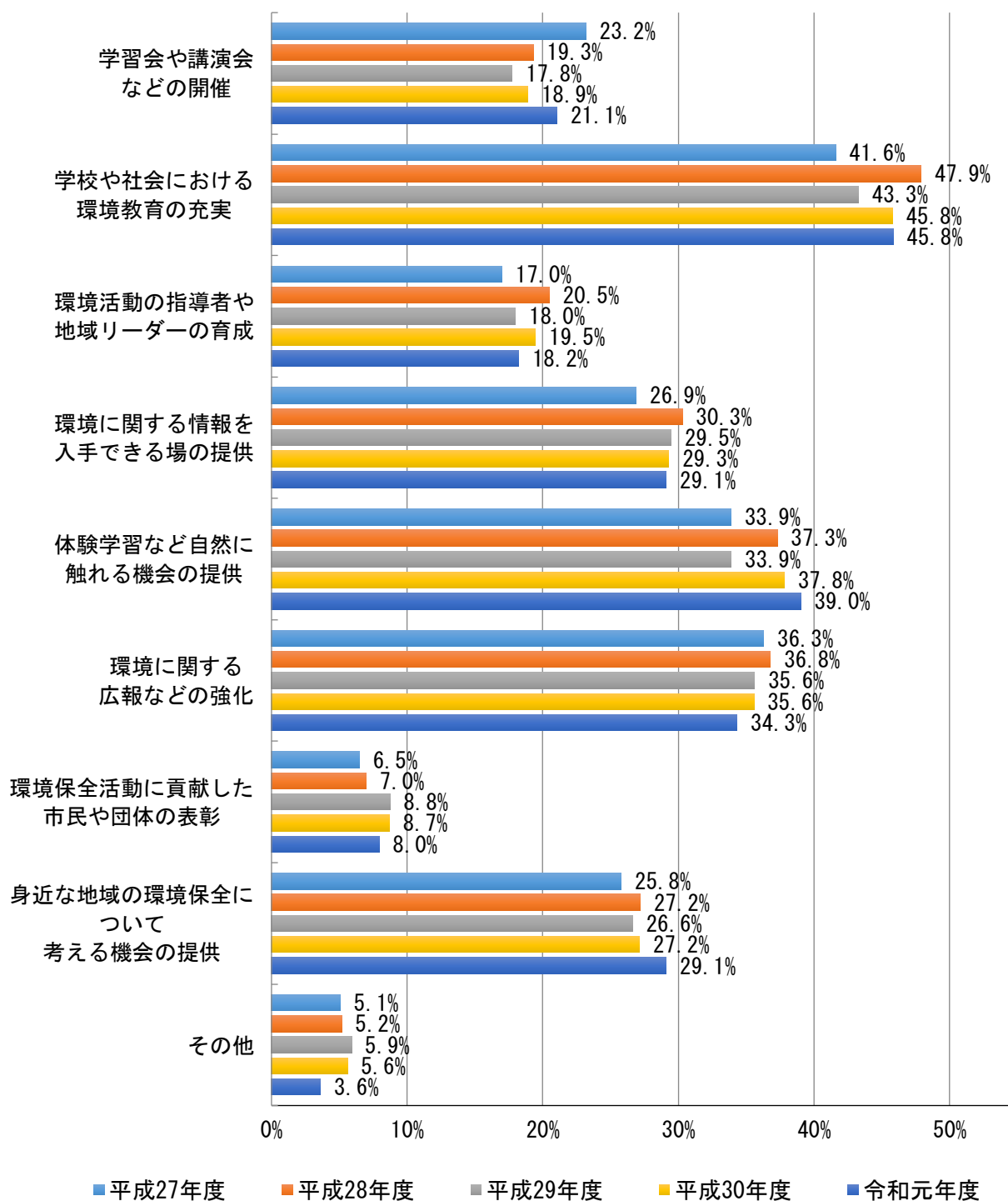
■属性別回答

	合計	自分の都合に合わせて、 短時間で参加できる	小学校や公民館など、 身近な場所で開催される	無料で参加できる	気軽に 参加することができる	専門的な知識を 身につけることができる	友人や家族と一緒に 参加することができる	その他
全体	1,130	47.3%	33.1%	51.0%	59.6%	14.2%	18.2%	3.9%
年齢別								
20 歳代	80	52.5%	22.5%	73.8%	60.0%	21.3%	22.5%	3.8%
30 歳代	144	56.9%	29.2%	70.1%	66.0%	18.1%	34.7%	9.7%
40 歳代	193	52.8%	26.9%	59.6%	60.6%	11.4%	20.2%	4.1%
50 歳代	184	51.6%	28.3%	48.9%	56.5%	16.8%	12.5%	6.5%
60 歳代	220	41.8%	37.7%	44.5%	63.2%	15.0%	13.6%	0.9%
70 歳代	191	40.3%	40.3%	38.7%	56.5%	14.7%	12.0%	0.5%
80 歳代	93	34.4%	44.1%	28.0%	49.5%	3.2%	20.4%	3.2%
職業別								
会社員	375	54.9%	27.7%	58.4%	61.1%	15.2%	20.5%	3.5%
自営業	82	50.0%	35.4%	42.7%	61.0%	13.4%	13.4%	1.2%
農林漁業	12	25.0%	33.3%	16.7%	66.7%	8.3%	—	—
公務員	82	51.2%	26.8%	54.9%	58.5%	22.0%	17.1%	7.3%
学生	14	64.3%	14.3%	78.6%	57.1%	7.1%	14.3%	14.3%
無職	396	38.1%	41.4%	43.9%	58.6%	11.1%	17.4%	3.5%
その他	141	48.9%	28.4%	53.9%	56.7%	19.9%	20.6%	5.0%
地区別								
中央区	260	51.2%	30.4%	49.2%	61.5%	16.9%	16.5%	3.5%
東区	276	49.6%	32.2%	54.0%	55.1%	16.7%	18.5%	3.3%
西区	142	47.2%	30.3%	50.7%	59.9%	13.4%	12.7%	2.1%
南区	216	42.6%	40.3%	53.2%	61.6%	10.2%	20.4%	3.2%
北区	198	43.4%	31.8%	46.5%	61.1%	13.6%	22.2%	7.6%

問 8. 市民の環境保全意識を高めるために、市としてどのような取組を行えば効果的だと思いますか。(複数回答可)

「学校や社会における環境教育の充実」が45.8%と最も高くなっている。次いで「体験学習など自然に触れる機会の提供」が39.0%、「環境に関する広報などの強化」が34.3%となっている。

過去5年間の推移では、それほど大きな変動は見られない。



【参考】

「その他」の内容

- ・ 予算を投入して結果を出す。
- ・ 地道な活動を継続している市民団体への経済的保障
- ・ テレビ、情報誌、インターネットの活用
- ・ ポイント制度の導入
- ・ 公共交通機関への環境負荷が少ない車両導入の補助
- ・ 危機感を訴える動画の作成

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：回答肢の中から一番選ばれたものについて、20 歳代から 60 歳代 は「学校や社会における環境教育の充実」が最も高くなっている。70 歳代と 80 歳代は「環境に関する広報などの強化」が最も高くなっている。

職業別：自営業と農林漁業は「環境に関する広報などの強化」が最も高くなっており、それ以外は「学校や社会における環境教育の充実」が最も高くなっている。

地区別：全区ともに「学校や社会における環境教育の充実」が最も高くなっている。

■属性別回答

	合計	学習会や講演会などの開催	学校や社会における 環境教育の充実	地域リーダーの育成 環境活動の指導者や	環境に関する情報を 入手できる場の提供	体験学習など自然に触れる 機会の提供	環境に関する広報などの強化	環境保全活動に貢献した 市民や団体の表彰	身近な地域の環境保全について 考える機会の提供	その他
全体	1,130	21.1%	45.8%	18.2%	29.1%	39.0%	34.3%	8.0%	29.1%	3.6%
年齢別										
20 歳代	80	15.0%	60.0%	12.5%	36.3%	45.0%	32.5%	12.5%	22.5%	6.3%
30 歳代	144	11.8%	51.4%	15.3%	34.0%	50.7%	30.6%	10.4%	27.1%	6.3%
40 歳代	193	19.7%	51.8%	13.0%	28.5%	48.2%	21.8%	14.0%	25.4%	4.1%
50 歳代	184	20.1%	51.1%	21.2%	27.7%	39.1%	33.7%	5.4%	36.4%	6.0%
60 歳代	220	23.2%	46.8%	18.2%	34.1%	38.6%	39.1%	4.1%	30.0%	1.8%
70 歳代	191	27.2%	34.6%	22.0%	22.5%	28.8%	41.9%	4.7%	31.9%	—
80 歳代	93	26.9%	25.8%	18.3%	22.6%	19.4%	40.9%	9.7%	24.7%	4.3%
職業別										
会社員	375	19.2%	50.1%	14.9%	33.1%	44.5%	29.1%	12.5%	29.6%	5.1%
自営業	82	19.5%	40.2%	18.3%	32.9%	30.5%	43.9%	9.8%	26.8%	—
農林漁業	12	8.3%	33.3%	16.7%	25.0%	25.0%	41.7%	—	16.7%	—
公務員	82	11.0%	46.3%	17.1%	29.3%	45.1%	36.6%	4.9%	20.7%	9.8%
学生	14	50.0%	71.4%	21.4%	42.9%	57.1%	35.7%	7.1%	14.3%	7.1%
無職	396	24.0%	41.2%	18.9%	23.5%	32.8%	37.9%	5.3%	30.3%	2.0%
その他	141	22.0%	51.1%	21.3%	31.9%	43.3%	29.8%	5.7%	34.8%	3.5%
地区別										
中央区	260	25.4%	45.4%	18.5%	31.5%	41.2%	32.7%	9.2%	25.8%	2.3%
東区	276	17.4%	49.3%	18.1%	35.1%	39.9%	34.1%	4.0%	31.2%	1.8%
西区	142	20.4%	40.8%	19.7%	23.9%	34.5%	35.9%	6.3%	31.7%	3.5%
南区	216	21.8%	49.1%	15.3%	23.6%	43.1%	32.4%	8.3%	31.9%	5.1%
北区	198	20.7%	42.9%	16.7%	28.8%	34.3%	37.4%	13.1%	25.8%	6.6%

このページは空白です。